

スギナミ・ウェブ・ミュージアムの取組状況について

令和2年10月にインターネット上に開設した仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の取組状況について、以下のとおり報告します。

1 展示概要

「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」では、恒常的に区の文化・芸術を紹介する「常設展」、期間を区切り、特集を組んで区の魅力を広く発信する「企画展」及び区民が文化活動をする場として貸出を行う「区民展」の3区分による展示を随時実施している。

2 運営形態

「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」は、区の協働事業「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」の一環で運営をしており、その管理は協働事業者である NPO 法人チューニング・フォー・ザ・フューチャーが担っている。

3 取組状況

(1) 展示内容

常設展	阿佐ヶ谷住宅の記憶展	令和5年6月1日～ ※R4.7.1～R5.5.31 企画展
	専門家による解説、思い出の投稿、廃材の現在、CGによる再現等を通して、当時の暮らしを振り返ることができる展示となっている。	
	杉並の芸術家展	令和5年7月1日～
	杉並を代表する芸術家とその作品を紹介している。現在は、中川一政、田中青坪、佐野ぬい、棟方志功、鈴木信太郎の5名の作品を展示中。	
	トウキョウ・スギナミ・アートチズ	令和5年4月1日～
区役所内に展示している美術品をはじめ、区内各所にある身近なアート情報を地図に落とし込み紹介している。		
区民展	誰もが目にしたことのある 杉並のまち風景スケッチ	令和5年9月15日 ～令和6年9月30日
	精緻な街のスケッチ画120点を展示している。スケッチによる風景と現在の景色が比較できる工夫がなされている。	
企画展	アンダー24・クリエイター・エキシビション	令和5年10月1日 ～令和6年9月30日
	小学5年生から24歳まで若手アーティストの作品が楽しめる公募展。	

(2) 表示回数（令和5年度）

118,468回

【参考】	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ページビュー数	81,926	87,236	114,575

※令和5年6月にシステム入替があり「ページビュー数」が「表示回数」に変更された。

(3) その他の展示内容

アーカイブ	杉並ゆかりの文化人アーカイブ映像集
	過去に制作した映像集「杉並ゆかりの文化人」を紹介。
	コミュかる・こぼれ話 バックナンバー
	文化・芸術情報紙「コミュかる」に登場した方のインタビューで、紙面に掲載しきれなかった話を紹介。
	東京高圓寺阿波舞 台湾公演
ライブラリー	コロナ禍の影響で4年ぶりに実施した阿波おどり台湾公演2023の様子を写真と映像で紹介。
	アートブックレビュー
	ウェブミュージアムの各展示に関係する解説書や杉並区に関連する図録等を紹介。
	フォトギャラリー
各種アート情報	区民参加型の企画。区内で見かけたアートな風景や瞬間をとらえた写真を掲載。誰でも応募が可能。
	アーティスト
	区内を中心に活動しているアーティストを紹介。
	ギャラリー
	区内のギャラリーや作品を展示できるカフェなどを「まちなかギャラリー」として紹介。
	一緒につくれるビデオシリーズ「ツくる」
	過去のワークショップで実施した「七夕馬づくり」や「版画体験」等を映像で紹介。
著作権について	
初心者向けの著作権ガイド。ウェブ上に自身の作品を出品するために必要なルールや知識を紹介。	

▼杉並ゆかりの文化人アーカイブ映像集



▼東京高圓寺阿波舞 台湾公演



▼まちなかギャラリー



4 今後の取組

(1) 専門家の解説付き ウェブミュージアムオンラインツアー

専門家の話を聞きながら展示作品を鑑賞できるオンラインツアーを開催する。

①棟方志功 色彩とデザイン

【開催日時】6月21日（金曜）午後6時30分～7時30分

②童心を描く 鈴木信太郎

【開催日時】8月2日（金曜）午後6時30分～7時30分

(2) 南川三治郎写真展 巨匠たちの仕事場

郷土博物館分館と連携した企画展。リアルとウェブそれぞれで作品を公開する。

①郷土博物館分館

【開催日時】6月15日（土曜）～9月23日（祝日）

②ウェブミュージアム

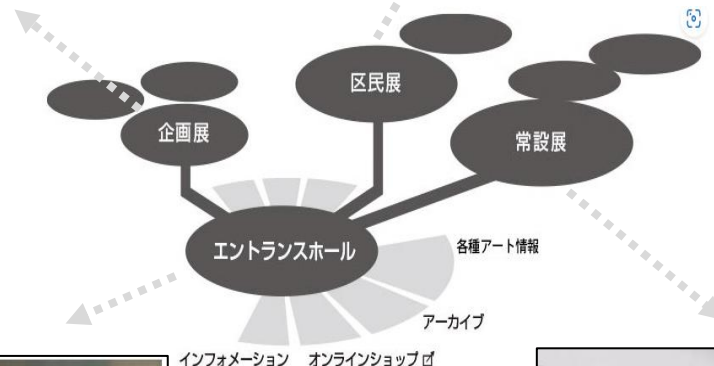
【開催日時】8月1日（木曜）～令和7年7月31日（木曜）



▲アンダー24・クリエイター・エキシビション



▲杉並のまち風景スケッチ展



▼エントランスホール



▼杉並の芸術家



▲スギナミウェブ
ミュージアム
二次元コード